

# 第17回 佐賀市景観賞

応募総数86通、作品総数76件にのぼるご応募をいただき、ありがとうございます。  
本年度の受賞4作品に佐賀市景観賞選考委員からのコメントを添えて紹介します。

## サガ電子工業株式会社



所在地…久保原町大字下和泉  
構造…木造一部2階建て  
用途…工場  
完成年…平成25年

工場・本社社屋を蔵の移築・再生建築群として実現されたこと、そのところが環境共生にあることに驚嘆しました。

後藤 隆太郎  
(佐賀大学 准教授)

施主の哲学を具現化し、統一感のある景観美となつていきます。クラシカルな風合いが時代をとらえていて魅力的です。

田中 善郎  
(朝日新聞社 論説委員長)



## 土井邸



所在地…高木瀬町大字東高木  
構造…木造2階建て  
用途…専用住宅  
完成年…1860年代(江戸後期)

来客を招き入れる工夫が随所に見られ、気持ちの良い空間が構成されています。古い建物と調和して、水路環境に対する気配りや生け垣があり、佐賀市の残していきたい景観の一つです。

三原 ユキ江  
(朝日新聞社 佐賀県建築士事務所協会 委員)

昔の小集落の一角に作られた民家で、周辺は今も広い水田があり佐賀平野を感じ、北方には山並みがあり、自然の風景を楽しむ中で、川をうまく利用し、開放された庭と、古い柿の木が歴史を物語り一体化した景観を呈しています。

久保 和男  
(朝日新聞社 佐賀県建築士事務所協会 会長)

## 古川邸



所在地…八戸1丁目  
構造…木造平屋建て  
用途…専用住宅  
完成年…平成19年

古いものを更新しながら使い続け、地域の歴史や景観を引き継いでいこうとする姿勢を評価しました。こうした取り組みが佐賀市に広がっていくことを期待します。

高尾 忠志  
(九州大学大学院 特任講師)

旧長崎街道沿いの古い商家古川家は、当時を今に伝える「八戸の地蔵」や「のこぎり型家並み」に囲まれています。その雰囲気や大事にと、朽ち果てて寸前の築140年以上の醤油蔵を地域の景観に配慮されてのリノベーションを評価しました。

川本 喜美子  
(地域情報プロデューサー)

## 特別表彰 三瀬老人クラブの花いっぱい活動

所在地…三瀬村

活動団体…佐賀市三瀬村老人クラブ連合会

活動開始年…平成13年



地域が一体となった生き生きとした取り組みに小中学生も関わることで、未来を育てている姿勢はとて素敵です。

草場 栄美  
(NPO法人夢の学校 副理事長)



規模も大きく、世代を超えた地域の人たちの「花のある村づくり」に対する熱い想いと積極的な活動が評価できます。

花山院 路子  
(佐賀女子短期大学 特任教授)

## 「景観賞」とは

市内にある建築物や緑など目に見えるものだけに限らず、そのものが醸し出す雰囲気など、総合的に景観の形成に貢

献しているものに贈る賞です。市民の景観やまちづくりに対する意識の向上を願い、これからの佐賀市の景観形成に對するひとつの道しるべになるように、また市民の皆さん

のまちづくりへの取り組みの一端を広く紹介できるようにと、平成9年度から実施しています。

## 佐賀市景観賞表彰式

受賞4作品は、11月19日(火)の第17回佐賀市景観賞表彰式にて表彰を行います。

表彰式の詳細は市報さが11月15日号をご覧ください。

## 問い合わせ

本庁 建築指導課  
☎40・7172  
FAX 40・7392